



2023年度

Peach Women's Business School

第2回

登壇者： 株式会社ピーチコーポレーション

代表取締役社長 酒井 真理

講演テーマ： 「アウェアネス」



アンケートは受講者の回答をそのまま転記しております

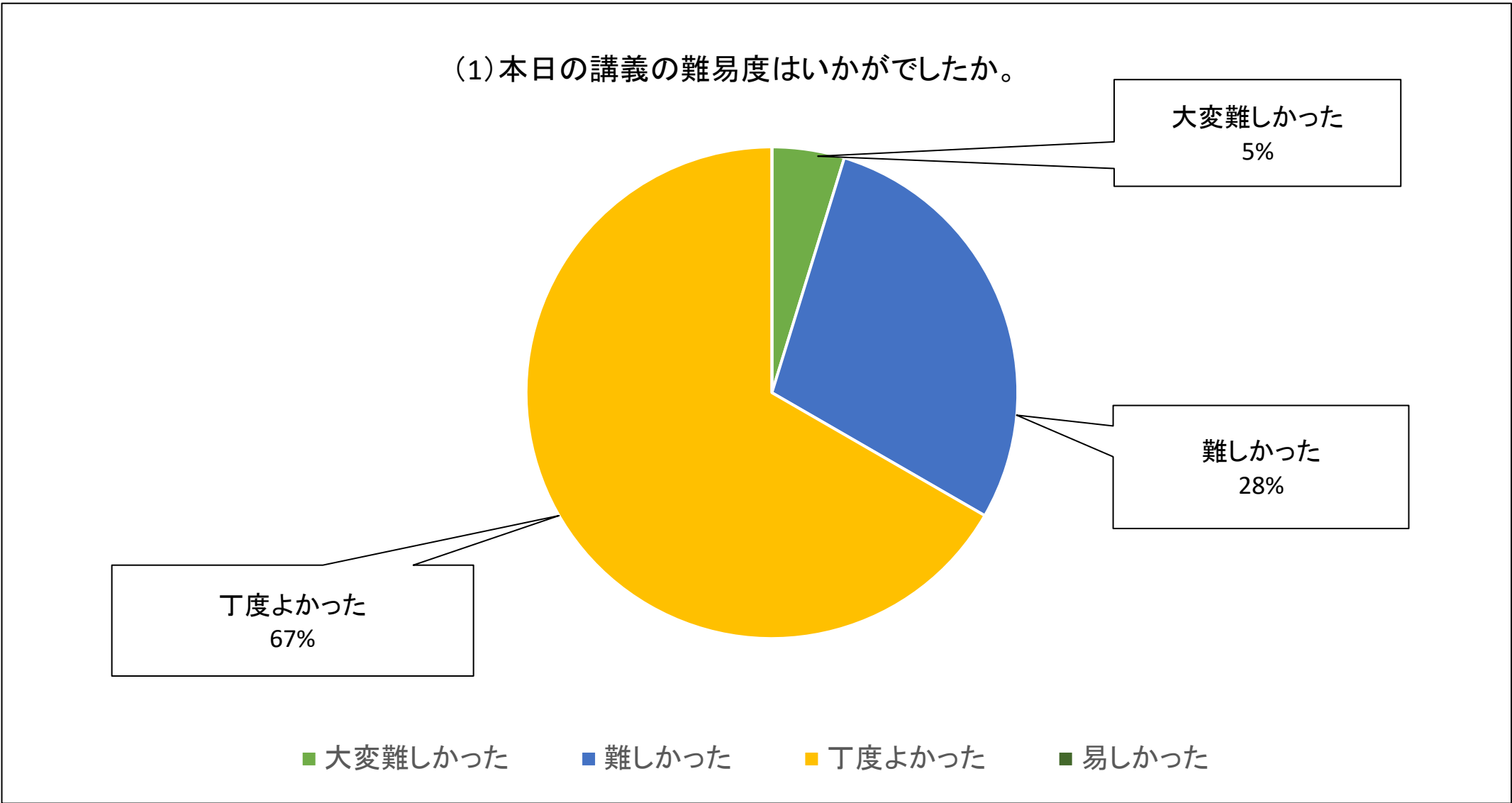
2023年度PWBS 第2回アンケート集計結果

研修日：2023年6月14日(水)
登壇者： ピーチコーポレーション株式会社
代表取締役社長 酒井 真理
講演テーマ：「アウェアネス」

(1) 本日の講義の難易度はいかがでしたか。

難しかった
難しかった
丁度よかった
丁度よかった
丁度よかった
難しかった
難しかった
丁度よかった
難しかった
大変難しかった
丁度よかった
丁度よかった
丁度よかった
丁度よかった
丁度よかった
丁度よかった
丁度よかった
丁度よかった
難しかった
丁度よかった

(1) 本日の講義の難易度はいかがでしたか。



（２）上記の理由と研修の感想をお聞かせください。

今回の研修で、自分自身が仕事をしていく中で“価値観を整える”ということが理解したが実践に移す事の難しさを実感しました。 また、グループワークや参加者の感想を通じて、他社の自分自身と全く業種の違う方と話をすることが出来て、会社のよってやはり違うなと感じる部分もあったがどこも同じ状況はあるんだと感じその部分を自分自身が社内に戻った時に女性活躍プロジェクト内や自身の今置かれている立場で変えていきたいなと感じる部分もあり非常に刺激的でした。 日々の生活の中で、価値観を整える為の習慣を行っていく為に整理しながら取り組んでいきたいと思います。また来月の研修もメンタルケアについて学べるのが楽しみです。
ひとつひとつの言葉の意味は何となく分かっていても、実際にどうしたことなのかを理解するのが少し難しかった。 頭ではわかっているけど実際業務をする時は目の前のことで精いっぱいになってしまうので、今後は「主体性」を持って行動することを意識したいと思った。グループディスカッションではメンバーの会社の状況を知ることが出来てよかった。
自分を振り返るきっかけとなる言葉がちりばめられていた研修だったため。誰かに何かを言われると反応してしまう状態では主体的に生きることができていないということ。今起こっていることは全て自分が原因を作っているということ（再帰的）。こういったところをもう一度考え直す必要があると感じた。
講義を一方的に聞くだけではなく、ディスカッション形式で同じチームの方の意見に共感、疑問、協議する時間がしっかりと設けられていたため、ボリューム的にも難易度も丁度よかったと思います。 本日の講義では、主体的に行動することへの重要性を学び、それに応えるべく、今後の自分の業務の取り組み方を今一度見直す必要があると実感しました。 まずは、何事にも関心、興味を持つこと。それによってどんな物事に対しても意欲的に取り組む姿勢が生まれ、幅広い視野を取り入れられる。そこで得られた視点や経験は様々な人とのコミュニケーション向上に繋がり、周囲の人と円滑に仕事も進められるようになるのではないかと感じました。 たとえ興味を持ったとしてもそこで知識を増やす、スキルを磨く、勉強をしなければそれ以上の成長はないと思います。目標達成に向って日々自分自身の成長を実感できるよう頑張っていきたいと今回の講義で強く思いました。
今回の研修には出席できなかったため、事前配布資料と研修資料を拝見した上での感想とさせていただきます。 女性の活躍推進に関する内容は、私自身も直面している課題でしたので非常に興味深かったです。中でも、参考資料①-5内に記載がありました「長時間労働を変え、生産性を上げる組織改革」「女性が活躍できる社会とは、男性にとっても生きやすい社会」という言葉は、私も常々感じている事であり、非常に共感致しました。 私自身子供がまだ小さく、あまり残業が出来ないため、産後復職後はいかに業務時間内に品質を落とさずに成果を上げるかを意識しながら業務をしています。 復職後、独身時代の仕事の仕方は無理・無駄が多かったと改めて感じる場面が多いです。 また、残業をする人＝仕事を頑張っている人という考えが潜在的にあり、定時帰宅や突発的な早退に後ろめたさを感じる場面もあります。 長時間労働を控え、生産性を上げる働き方が社会に浸透すれば、男性も家事や育児に参画する機会が増え、結果として女性の活躍できる機会も増えると感じています。 アウェアネスについては、「成長の連続体」のページが印象的でした。私は今の職場で主体性をもってチームを纏める立場にありますが、今の私は「私」の責任の基で仕事を進めているという感覚が強く、ここを「私達」に変える事で更に良い仕事出来るようになるかもしれないと感じました。
内容についてよくわかり、大変納得しました。実行したい、変えていきたいと思い、それに向かい努力しようとおもいます。努力の結果はすぐには出ないし、自分では見えにくいということから、難しかったと回答します。 日ごろから意見がまとまらない、意見が出ない、うまく伝えられないなどの悩みがあり、自分軸が定まっていないと感じます。自信が持てない所以なんだと思っています。今回の講義で、自分軸を持つということは値観を整える事であると捉え、がむしゃらでなく、知識、やる気、スキルの3つからなる習慣が必要だということを学びました。私自身の場合、圧倒的にスキルの部分が不足していると感じています。特に上手く伝える力が圧倒的に足りていないし、ニガテでつつい避けてしまっています。会社内で目的を果たすために与えられる発言のチャンスは一度しかない（もしくは数少ない）ということ、そのチャンスを逃さないように、あきらめず、努力していきたいとおもっています。
価値観は自分が置かれた環境の中で形成されていくもので、自ら「価値観を整える」という発想がなかったので、そこを念頭に意識し行動することは簡単な事ではないと思いました。 自分は主体性を持って動く方ではあるのかなと思っておりましたが、成長の連続体というところでSTEP3の公的成功「自分の努力と他人の努力を引き合わせて最大の結果を出す」「理解してから、理解される」この部分、実践していきたいと思います。1年の研修を通しての課題の中で「知っている内容（事柄）でも、人に分かるように伝えることができるかを考え、違う角度からも考えられる力を持つ」自分のウィークポイントであり、養いたい。
主体性を持って業務に取り組んでいるつもりでいましたが、研修を受講する中で、まだまだ足りていないと自身を振り返ることが出来ました。接する人たちのレベルは、自分を映す鏡であり、今の自分のレベルであることを教えて頂いたので、反応的な態度を取られた時には、我が振り直して落ち着いて対応していきたいと思います。 グループワークでは、「はじめまして」の人ばかりでしたが、皆さん傾聴力と共感力に優れており、4人全員で意見を出し合えました。終始とても楽しくディスカッションが出来たことを嬉しく思います。
まずこの一年でどういった姿勢で何を学ばかを提起され、気づきに必要な具体的な行動をお話いただいたので、わかりやすかったです。 「価値観は自身で整えることができる」ということが印象的でした。たしかに若いころと現在の価値観は異なるのですが、人生経験により無意識に変わってきていただけでしたので、今後は知識・スキル・やる気を念頭に自分の在り方を意識して向上心をもった行動を心がけたいです。また自分に与えられた範囲の仕事を最大限にこなそうという気持ちはあり、責任感もあるとこれまで自負していましたが、狭い視野でしか考えていなかったと思います。 組織の目標がある中での自分や他者の役割を理解し、より主体的に取り組まなければと気づかされました。 急速に自身をUpdateすることは難しいかもしれませんが、まずは意識して責任をもった行動をとるところから始めてみようと思います。有難うございました。
主体性を持ち、自ら責任を持って行動していると自負していたが、主体的に生きる事の根本的な意味が理解できていなかったため。理解するためには「価値観を整える」事が必要であり、3つの中心的な価値を高めるための行いを生活の中で習慣として確立しなくてはいけない。3つの要素を意識し続け、少しでもSTEP3へ近付ける様に努めていきたい。

普段、自分が仕事をする中で、心がけようとしていることや、向かう方向は、間違っていないのだなという、再確認ができたと思っています。講義の中でも、価値観を整えるという言葉は心の中に残っていて、現在の仕事も大変なこともあります、自分の経験していることは、苦労だけでなく、自分の価値に結び付けられるのだなという、考え方を持つことができました。

性格的に、後ろ向きに考えてしまうタイプですが、常に前向きにを意識して、物事に取り組んでいってみようと思います。

いつも考え、学び続けることの重要性を再認識できました。女性活躍は法整備により後押しされているものの、発展していつているようで進んでおらず、だからこそ私たちの主体的な言動が与えられたチャンスを生かすことにつながると思います。参加者みなさまの生の声を直接聞くことで、私たちの置かれている現状の理解も深まりました。次回もよろしくお願いいたします。

昨年9月9日に弊社でお話いただいた内容を復習しつつ、新たな気づきを得ることができました。個人的に、なぜ「女性管理職30%」が目標なのか（日本人や日本人女性の特徴を踏まえた数字？）そして、「対等な評価」とはどんな評価なのか、を疑問に感じています。この1年間で自分なりの答えを見つけたいと思います。

また、講義だけでなく、メンバーと話をする時間があることで、自分の考えを言葉にして伝えること、他の人の意見を聴くことででき、より多くの気づきを得ることができたように思います。

近年、女性の取締役を登用している企業が多くみられるようになり、時代は変化しているように感じていました。しかし、先生のお話を聞き、プロパーの女性登用はほとんどないこと、そのようなポジション（社外取締役等）に居る方でも発言することが難しいと感じておられること等を聞いて驚きました。

今後、自身がこの会社でキャリアを積んでいくうえで、『やる気』だけではなく『知識』と『スキル』が必要なこと、リーダーには『自立』だけでなく『公的成功』が必要なことを知りました。常に前向き！とはいかないかもしれないけど、日々考えて成長したいと感じました。有難うございました。

先生や同じグループの方の実体験を伺うことで、気づきに必要な主体性を得るために、まずは価値観を整えることが大切であるということについての理解をより深めることができました。

ここ最近、新しい業務へのモチベーションが上がらなかったのですが、モチベーションは上げようと思って上げられるものではなく、まずは与えられていることを100%の力で実行・達成し、そこから得られる達成感を糧にすれば自ずと上がっていくのかもしれないと前向きな気持ちになりました。

酒井先生が具体例を交えてご説明くださったので、とてもわかりやすかったです。

今回の研修で印象に残ったのは、「役職が高い人ほど反応的な人間は少ない」ということと、受講生の方がお寺で見つけた、「私が正しいは、争いの種」という言葉です。感情に訴えかけて何かを得ることもあれば、戦わなければならない場面もありますが、そのようなイレギュラーなシーンを除いては、冷静に客観的にいることを心掛けることが、よりよいビジネスパーソンになるための秘訣なのかなと思いました。

・アウェアネスについて学ぶのは、初めてであり、聞きなれない言葉でしたが、順番に説明して頂いたので、理解することができたため。

・「大きな困難に直面したときの反応の仕方＝態度」は、経験と創造から出てくるもの、という内容が、とても印象的でした。困難に直面したときこそ、周りにも見られているし、その人の内面が出るな、と思いました。研修や日々の生活の中で、「気づき」を意識して1年を過ごしてみたいと思いました。

【講義の難易度】
女性経営者として歩んでこられたお話やご自身の失敗例など研修に絡めてお話して下さりとてもわかりやすかったです。

【研修の感想】
酒井社長のお言葉で、現状に満足せず今より高い志を持つ。そのためには主体性を伸ばし、価値観を整えて物事に向き合うという点はとても心に響いたので、自分が描く未来になるために知識をよりみにつけ考える力、発信する力を向上させていきたいと思いました。まずは自分を励ます好きな言葉をみつようと思います。

自分や周囲のことを意識することから社会・未来の働く女性のためにという枠組みが大きく難しく感じましたが、先を意識しながらまずは自分と周囲の人のために出来ることから考えて前向きに行動していきたいです。

具体例を含めてご説明を頂き、自分ごととして納得できる内容でした。

特に「主体的」の反対が「反応的」であること、主体的であるためには自分の価値観を整えることが重要というお話はこれまで自分が気づいていなかった自分の特徴に気づくことができ非常に参考になりました。

気づきや柔軟な対応力に必要な意識・行動について、改めて考え、様々な意見を聞き、多くのことを学ぶ貴重な機会となりました。

気づきを得るためには、主体性・価値観を整えることが重要で、アンテナを張ることも、その中の一つとして印象に残っています。また、環境（仕事・立場・部署など）が変わると、不慣れや自信の無さなどから、自分の意見を述べるのがより難しくなるように感じますが、自分の考えをもつことで、周りからの知見も得られ、また新たな気づきにつながることを学び、今後も継続して取り組みたいと思います。